

人材育成像、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー

◎ 人材育成像

東北公益文科大学公益学部は、育成すべき人材像を以下のように定め、教育活動を行っています。

- グローバルな視野を持ち、地域の人々とともに、地域社会が直面する経済、行政、福祉などの課題に、リーダーシップを持って果敢に取り組む人材

◎ ディプロマポリシー(学位授与方針)

公益学部は、次の方針に基づいて学士(公益学)の学位を授与します。学生の皆さんは、卒業に必要な所定の単位修得を含めた学修活動を通じて、この方針に示した能力を修得することが求められます。

- 幅広い知識と専門知識とともに、地域の人々と連携して、地域を牽引していく実践力を磨くため、カリキュラムを通し、以下の4つの力を身に付ける。
▶1 コミュニケーション力と発信力 ▶2 国際感覚 ▶3 創造力と企画力 ▶4 リーダーシップ

◎ カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施方針)

公益学部は、上述のディプロマポリシーで示した能力を育成するため、体系的な教育課程を編成しています。編成・実施するにあたっての方針は以下のとおりです。

- 基本的な学習能力と幅広い教養を身につけるため、基礎教育科目を配置する。地域社会の現状を理解し課題を発見する上で必要となる知識や、課題解決に向けた専門的な方法論を体系的に学ぶため、専門教育科目を配置する。
- 授業運営においては、教員からの一方的な講義だけでなく、学生同士でのグループワークの実施や成果を発表する機会を多く取り入れる。
- 外国語科目を必修とするとともに、国際関係論や海外や日本の文化等を学ぶ科目を配置する。更に、英語圏、中国語圏の大学で語学を学ぶ短期語学留学を配置する。
- 地域の人々とのコミュニケーションを図りながら、地域の課題を発見・分析し、問題解決への解を見つけ、提言を行う能力を涵養するため、応用演習科目を配置する。
- 地域の企業と連携しインターンシップの充実を図り、学生の目的意識に応じた複数のインターンシップを配置する。